

令和2年度 第一回豊洲市場に係る都区連絡調整協議会について

1 開催日 令和2年6月12日（金）

2 主な協議内容

- ・都区間の3つの協議事項について都側から現状説明後、質疑。
- ・地下鉄8号線に関して、都は、国と東京メトロとともに実施している技術的検討に関する勉強会（第3回）の内容や、都の区域マスタープランにおける新たな位置づけについて説明。

(1) 土壌汚染対策について

区側	都側
<ul style="list-style-type: none"> ・昨今の台風や大雨により、地下水位の大幅な上昇も想定として考えられるが、地上部の安全は維持できるのか。局所的な大雨が降っても大丈夫なのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・一時的に水位が上がっても、徐々に下がっていく。換気設備もあり空気調査の結果は全て基準以下であるため、地上部の安全には影響ないものと考えている。
<ul style="list-style-type: none"> ・地下水質は環境基準を守れておらず、数値が高止まりしている状況が続いていることに対する都の認識や改善策をうかがう。 ・環境基準というより実際に安全が守られているのであれば、区民に対して広報や周知を少しでもわかりやすくお願いしたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地下水質の測定地点は、濃度の高いところを抽出して確認している。地下水質は、下水に放流する際には一度も基準を超えておらず、pH調整のみ行っている状況であり、全体としては相当希釈されている。濃度の高い地点は横ばいであるが、揚水を続けることにより、中長期的には水質が改善するものと考えている。

(2) 千客万来施設事業等について

区側	都側
<ul style="list-style-type: none"> ・観光バス乗降場について、使用していた6街区が工事で使えなくなる。今後、団体客を受け入れる際は、その代替地が必要になるが、検討状況を教えてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現在は団体客を受け入れておらず、観光バスのニーズはないが、代替地を場内あるいは周辺で探すなど調整中である。なお、団体客の受入れは、6月8日に再開した一般客の状況を踏まえて検討していく。

区側	都側
<ul style="list-style-type: none"> ・万葉倶楽部の本体工事着工に向けた諸手続とは具体的にはどのようなものか。詳細な進捗状況を教えてほしい。 ・都による整地工事の着工時期と工期を教えてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・万葉倶楽部や建設事業者が必要な行政手続を進めている。都としては予定どおり進んでいることを確認しており、大きな遅れや支障はないと把握している。 ・整地工事については、6月15日から事業者が現地に入り、9月30日までに工事を終える予定。これを万葉倶楽部も理解の上、10月の着工に向け諸手続を進めており、お互い進捗を確認しながら進めている。
<ul style="list-style-type: none"> ・オリパラ大会の延期は千客万来施設工事のスケジュールに影響はないということはこれまでも説明があったが、万葉倶楽部はどう考えているのか。例えばコロナの影響もあるのではないか。 ・工事の具体的なスケジュールや、オリパラ大会期間中の施工体制など、詳細を示してほしい。 ・市場と一体となった賑わいの創出は市場開場の大前提であるので、都として責任をもって対応してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナの影響がない事業者はいないだろう。都は事業者と協定を結んでいるし、オリパラ大会の延期があっても影響はないという前提のもと調整しているというこれまでの説明に現時点で変わりはない。 ・万葉倶楽部は、大会が延期になっても工夫をしてスケジュールを守ることが可能と言っている。都は、工程や工夫の内容等詳細を持ち合わせていない。着工後になると思うが、わかり次第情報提供する。

(3) 交通対策について（地下鉄8号線の延伸）

区側	都側
<p>【都市計画区域マスタープラン（原案）の記載について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・豊洲、東陽町、住吉の各拠点における地下鉄8号線延伸の記載は、都が地下鉄8号線延伸を前提としたまちづくりをしていくという認識を示したものととらえてよいか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・区域マスタープランは2040年代の地域の将来像を描いたもの。豊洲、東陽町、住吉への駅の設置を想定して記載したものであり、地下鉄8号線延伸を全力で進めていくという都の姿勢を示したものである。

区側	都側
<p>【技術的検討に関する勉強会について】</p> <p>・ 駅施設の規模や構造の検討の中で、コロナの影響による需要減がどう影響するのかわからない。昨年の国の検討会で豊洲駅の混雑が問題提起されたが楽観視しているのか。それとも、技術的勉強会では事業性や事業収支についても検討するのか。</p>	<p>・ 第3回の議題は地下の支障物が主であるが、豊洲駅も勉強会の検討項目に入っている。コロナの影響による需要減は、5、6月で多少戻っているが、状況を見ながら検討を進めることで、国、東京メトロと合意している。</p> <p>・ コロナの影響で乗降客数がどうなるかは、駅の拡張等に関わってくる。その意味でコロナの影響を注視するとしている。</p>
<p>【事業スキームについて】</p> <p>① コロナの影響を受けて、国は鉄道のあり方についてどう考えているのか。議論しているのか。</p>	<p>・ 都としてはコロナが終息しても混雑緩和が必要という考え方であり、国やメトロに示している。国は、地下鉄8号線に限らず今後検討されるものと思っている。</p>
<p>② 事業スキームについては国や東京メトロと調整するとしているが、経過についての記述がない。技術的勉強会とは別に事業スキームの検討の場を設けているのか。</p>	<p>・ あらゆる機会を捉え、都としての考えを示し、調整を図っている。</p>
<p>③ 事業スキームはいつ頃を目途に提示できるのか。</p>	<p>・ 具体的には相手がいることなので示せないが、できるだけ早期に示せるよう調整する。コロナの影響があっても、その必要性に変わりはないので、全力で取り組む。</p>
<p>【有価証券報告書の記載について】</p> <p>・ 有価証券報告書における新線整備はしないという記載については、国が民営化方針を決定したことが前提にある。一方で交通政策審議会の答申では複数の新路線が必要としており、国も記載の修正が必要と考えているのではないかと思うが、議論しているのか。</p>	<p>・ 国の審議会の答申に、具体的な新線の計画があるが、事業主体については関係者間で調整というスタンス。</p> <p>・ 東京メトロによる整備運行が合理的ということについては、様々な機会を捉えて話をしている。これが国、東京メトロと合意できれば、有価証券報告書の記載変更についても調整されるものと考えている。</p>